

いのちの教育 ～忘れてはいけない大切なこと～

<http://www.snma.or.jp/~suzukiganka/> 寒河江市 鈴木一作

はじめに

- *子どもを育てる = 心という“記憶の蔵”に、バランスよく良質な物を入れていくこと (心の醸成)
- *小学生『明るい、やさしい、素直、真面目』→何が足りない? 中学生は? そして高校生は?
- *自己肯定感、自信、自負、誇り(その人をその人たらしめるもの、その人の生き方を支えているもの)
- *山形5教振の「いのち輝く」= 自信と愛と志 → 要は、「心の安定、心の繋がり、心の強さ・美しさ」
- *どんな世の中でも不変の「優先順位」や「価値」 → 子どもたちに「本当は大切なこと」を

1. 命の源 (日本人の心) いのち

- *おかあさん: 太陽 (明るく輝いている素晴らしい人) *親の幸せ *日本: 国名と国旗
- *おとうさん: 尊い人 (おかあさんを大切にし、家族を養い守ってくれる人) *おかげさまで

2. 命の最後(死) に対する実感

- *仏壇があるという意味、お墓参りに行くという意味 → 先祖と対話し敬う心、合掌する姿の美しさ
- *お通夜の意味 → 死者との最後の別れの場、残された家族を慰める場、命の意味を考え伝えていく場
- *死に対する現実感、死者に対する畏敬の念、死を悲しむ家族の気持ち
- *親より先に死ぬのは最大の親不孝、親の死に水をとるのは最大の親孝行、子どもは希望、子どもは宝

3. 学校で学ぶ10の力 (生きる力) まなび

話す力 (言葉で伝える力)、聞く力 (聞き取る力)、書く力 (文字で伝える力)、読む力 (読み取る力)、見る力 (見抜く力)、感じる力、覚える力、考える力、使いこなす力 (駆使する力)、人を好きになり人から好かれる力 (仲良くなる力)

4. 教育の目的 (家庭を築き、地域を担い、人として生きていく上で大切なこと)

- *嬉しかった事、悲しかった事、怒った事、つらかった事、頑張った事、失敗した事、叱られた事、ほめられた事、くやしかった事、恥ずかしかった事、恐かった事、感謝した事、そして感謝された事
- *4S2Y: 誠実、責任、信頼、正義、やさしさ、勇気 (偉い人より立派な人に)

5. 共感する力 (仲良くなる力) つながり

- *様々な実体験と実感、大人からの価値付けと支え、そして手本が大切
- 大人が何を大切に思い、何を喜び、何を許さないかを、子供の心に共感意識として伝え刻みこむ
- *絵本・伝記の大切さ → 知識・実感・共感・感性・意欲・志 *君が大好きだよ光線 = 絆
- *「笑顔、はい、ありがとう、おはよう」は最高の魔法 *社会に出た若者に最も大切なこと?

6. いとおしむ心 (小さき者・弱き者を、いとおしみ、かばい、守る心)

- *新生児や乳幼児の世話をする体験 (抱く、手を繋ぐ、歌、遊戯、詠み語り)、見舞いに同伴する体験
- *自分には守らなければならない人がいるという実感

7. 仲の良いことの心地よさ

- *仲が良いこと (安心感、嬉しさ、ありがたさ) → 「心の安定、心の繋がり、心の強さ・美しさ」の基盤
- *夫婦の仲が良いこと/家族の仲が良いこと/クラスの、職場の、地域の、皆誰しものが仲の良いこと
- *仲良くしよう・仲良くしたいという思いこそ社会の礎 *仲の良い家族 = 最高の宝物・希望の源
- *一緒に食事する/一緒にお風呂に入る/一緒に大貧民をする/就寝時は絵本読み語りと添い寝をする
- 親子で喋り、親子で遊び、親子で築く生活リズム (大切な前頭連合野の発達)

生きる喜び

●お願い（あなたが必要なんです） / 頑張れ / ありがとう

*この世で最大の不幸は、自分は誰からも必要とされていないと感じること。

*「頑張れ」は祈りの言葉：あなたの成功を、あなたの幸せを、あなたの未来を、私は信じ祈っています

*「ありがとう」は、日本語の中で最も深みのある言葉、最も美しい言葉

教育が目指すもの

●ウィリアム・スミス・クラーク博士の「Boys be ambitious」に続く言葉

少年よ、大志を抱け。お金のためではなく、自分のためでもなく、まして名声のためでもない。

人として如何に在るべきか、その道を全うするために、少年よ、大志を抱け。

目指すべき社会

「一人一人が生き甲斐を感じながら働き、次代を担う若者を大切に、弱き者を助け・支え・守り、心豊かな自分にささやかな喜びを感じ、良い家族と郷土に恵まれて幸せだ」と誰もが思える社会

付記：私の願い 「大人は伝えているか？（絵本で子育てセンター）」（アマゾンで販売中）

- 1) 通夜・葬儀・お見舞いなどに、子供達を連れて行って欲しい
- 2) 墓参り、仏壇のお世話、風習（節分など）を大切にする家庭であって欲しい
- 3) 乳幼児の世話をさせたり、一緒に遊ばせたりして欲しい
- 4) 仲間同士（特に異年齢）で、自然の中での遊び体験を増やしてあげて欲しい
- 5) 地域の様々な大人や異年齢との触れ合い・関わりを増やしてあげて欲しい
- 6) 「はい」、「おはよう」、「ありがとう」、「おやすみ」、「いってらっしゃい」、「おかえり」を、親も子供も大切にする家庭であって欲しい
- 7) たとえ学校に遅れても、朝ご飯はきちんと食べさせて欲しい
- 8) 小学生のうちには、遅くとも9時半には寝かせて欲しい（絵本を読んで添い寝する）
- 9) 家族が一緒の場（一緒に食事、一緒に入浴）では、自然に楽しく会話をし合える家庭であって欲しい
- 10) 相手の顔を見て話しをすることの大切さを伝え、それを実践している家庭であって欲しい
- 11) 玄関では靴を揃える習慣（きちんとしていることの美しさ）を、家族全員で大切にして欲しい
- 12) 子供の前では、他人の悪口（特に教師の悪口）を絶対に言わない親であって欲しい
- 13) 親や教師に子供の前で使って欲しい「価値付け」と「支え（希望、勇気づけ）」の言葉
 - ・何よりも嬉しいこと、それは心のやさしい子供に育ってくれたこと
 - ・絶対に許さないこと、それは弱い者をいじめること
 - ・迷ったら、勇気がより必要な方を選べ（勇気こそ最高の愛）
 - ・君がこの世に生まれた時、沢山の人が笑顔になった（それが、君が生まれてきた最高の価値）
 - ・親より先に死なない（最高の親孝行は親の死に水をとること＝君が生まれてきた二番目の価値）
 - ・おまえは、私の自慢の息子（娘）だ（→ 親にしか使えない最高の言葉！）
 - ・先生は、君のその勇気を一生忘れない（→ 教師にしか使えない最高の言葉！）
 - ・卒業しても、誰もがまた会いたくなる学級でなくてはならない（→ 教師の至上命題）

